



# 人権だより



人権教育委員会

## ○人権週間について

12月4日(水)～12月10日(火)は人権週間でした。人権週間の重点目標である、「みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～」を意識して生活することができているでしょうか。自分はもちろんのこと、学校生活を共にする友人や周囲の大人に対して、「かけがえない命」や「思いやりの心」といった意識を常に持ち、生活してほしいと思います。

### 【身近な人権問題】「県公報みやざき」より抜粋

こんな言葉を聞いたり、場面を見かけたことはありませんか？

(家庭で)「育児は母親の仕事」、「女の子だからお母さんのお手伝いをしなさい」

(就職試験時に)「お父さんのご職業は？」

(地域社会で)「点字ブロックの上に、自転車がたくさん止めてあった」

私たちは、日常生活の中で気づかないうちに、人を傷つけていることがあります。

その多くは悪口や陰口、嫌がらせなど日常生活で起きています。人権問題について

考えるときは、まず身近な人権問題に気づくことが重要です。

## ○井原市人権啓発標語入賞作品

2学期のはじめに募集をしていた井原市人権啓発標語の審査結果が届きました。本校からは以下の3作品が優秀賞と佳作を受賞しました。いずれも人権週間の重点目標と関連し、深いメッセージを感じることができる作品ばかりです。ぜひ一読して、みなさんも標語のメッセージを感じ取ってみてください。みなさんの人権意識が高まることを期待しています。

井原市人権啓発標語 優秀賞

認め合う

やさしい心を

大切に

四年A組 原田 純

井原市人権啓発標語 佳作

授かった

一つの命

大切に

二年A組 高山 真歩

気付きたい

笑顔の奥で

流れる涙

四年A組 藤井 友里恵

## ○第2回人権LHRについて

9月20日に「じぶん人権宣言 ～人権標語を通して～」をテーマに第2回LHRを行いました。各クラスで人権標語を一つ選び、人権標語に込められたメッセージを読み取り、それに関係する自らの経験を振り返ることで、人権問題を自分のこととして考え、今日から自分が何に取り組むべきかを「宣言」してもらいました。以下はそれぞれのクラスが選んだ標語です

1年生:「グサ!と刺さる厳しい言葉 言うは鈍感 聞くは敏感」

2年生:「ごめんねと 謝る気持ち 私から」

3年生:「消しゴムで 消せない一言 その重さ」

4年生:「名も顔も 見えない相手と 見えない悪意」

### 【標語にこめられたメッセージ】

1年生:「刺さるような言葉を言っている人に、その言葉を言われた人の気持ちを伝えようとしている。」

2年生:「相手の立場や意見を尊重し、自分にも悪いところがあったか、冷静に考えるべき。自分から謝れば意外に道は開けるかもしれない。」

3年生:「一度発した言葉は取り消すことができないから、言葉を発する時は言葉の重さを考えて話そう。」

4年生:「人間不信・匿名性を利用した悪意・人間の闇・ネットの闇」

### 【自分宣言】(抜粋)

1年生:「相手を傷つけないように、使う言葉に気をつけることを宣言します。これは、みんなを傷つけないようにするためと、自分を見直すための取り組みです。」

2年生:「相手の立場を考え、自分にも悪いところがあったか考えて行動、発言することを宣言します。これは人間関係を良く長く保つための取り組みです。」

3年生:「思っていることをよく考えて言葉にすることを宣言します。これは相手に自分の気持ちを伝えるための取り組みです。」

4年生:「自分の意見をしっかりと持ち、考えることを宣言します。これは、どのような相手でも傷つけないための取り組みです。」

